

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

おもちゃ美術館を核とした地域活性化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県佐川町

3 地域再生計画の区域

高知県佐川町の全域

4 地域再生計画の目標

4－1 地方創生の実現における構造的な課題

自伐型林業の推進や新規就農の増加等、しごと創出の分野では一定基盤整備が進んでいるが、人口の動向で自然増減については若者世代が町外に流出し減少したことや非婚化・晩婚化の進行、子育てに対する負担感の増大による出生率の低下から自然減となっており、社会増減についても転出超過が続いている。特に高等学校や大学等を卒業して進学、就職する際に町外に出る者が多く社会減となっている。社人研の推計（2020年）によると2060年の将来人口推計は5,576人と約半数となっている。特に15歳～24歳世代の人口流出が課題となっており、人口が減少する中、若者が地域に残り、地域の担い手となるよう、地域の仕事への理解や魅力を情報発信することや若い世代が子育てしやすい環境づくりが必要となっている。

また新型コロナの影響により観光客も減少している中、観光資源を活用した集客により新しい人の流れをつくり、地域の文化・歴史・自然・産業等の魅力を情報発信することにより町を知ってもらい町外からも多くの人材を呼び込みまちづくりを行っていくことが必要となっている。

4－2 地方創生として目指す将来像

【概要】

佐川町の人口は昭和30年の18,785人をピークに減少を始め、一時は下げ止ま

りしたものの令和2年には12,323人となっており、高齢人口が多く、年少人口が少ない逆ピラミッド型の人口構造になっている。人口減少を抑制するためには若い世代の絶対数の増加が必要である。また、若者が地域に残り、地域の担い手となるよう仕事を創出することが重要であり、中山間地域である佐川町の資源を有効活用できる第一次産業は重点的に推進すべき分野と言える。

- ・先人から受け継いだ地域資源である森林木材から利益を生み出し、雇用を創設するために力を入れている「自伐型林業」
- ・「日本植物学の父」と呼ばれる牧野富太郎博士の生誕地であり、牧野公園を核として取り組んでいる「まちまるごと植物園」
- ・町産木材を主とした商品づくりやデジタルによるものづくりを行う「発明ラボ」

これら佐川町まち・ひと・しごと創世総合戦略で取り組んでいる施策を幼少期から遊びの中で追体験できる佐川町でしかできないおもちゃ美術館（「木育」「植育」「職育」をコンセプト）を整備、運営することにより利用した町内で育った子どもたちが町内で暮らし続けたい、転出してもいつかは戻りたいと思うようなふるさと愛を醸成し、若者が地域に残り、町内の豊富な木材資源や農作物を活用して一次産業の担い手となる地域を創世する。

また、県内外の親子連れもおもちゃ美術館の集客のターゲットとし、隣接する道の駅とともに佐川町の魅力を周知しブランド力を高めることにより観光振興、地域活性化、移住促進に繋げる。牧野公園や牧野博士の生家やJR客車収容施設等のある上町地区、国内外の化石コレクションや動く恐竜、プレート運動を解説する動く大陸装置を展示している地質館、町内各地、牧野博士が研究のフィールドとしたことで有名な横倉山（越知町）にも足を運んでもらい地域の活性化を目指す。

【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2022 年度増加分 1 年目	2023 年度増加分 2 年目
おもちゃ美術館入館者数(人)	0	0	26,650
道の駅来客者数(人)	0	0	250,000

上町地区及び地質館への入込客数 (人)	31,952	0	7,500
------------------------	--------	---	-------

2024 年度増加分 3 年目	2025 年度増加分 4 年目	2026 年度増加分 5 年目	K P I 増加分 の累計
1,000	1,000	1,000	29,650
20,000	10,000	10,000	290,000
7,500	7,500	7,500	30,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 の③及び5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007（拠点整備）】

① 事業主体

2 に同じ。

② 事業の名称

おもちゃ美術館整備事業

③ 事業の内容

多世代交流、木育、ふるさと教育の推進を目的とし、おもちゃ美術館を建設整備する。おもちゃ美術館は全国に10カ所整備されており、各施設において木のおもちゃや造作物を用いた特徴ある取り組みが進んでいる。佐川町のおもちゃ美術にあたっては、「植物」「牧野富太郎博士」をテーマに、造作物の制作、遊びメニューの開発を行う。また、施設の整備、運営にあたっては、地域おこし協力隊の人材を活用するとともに、町内外のおもちゃ学芸員（ボランティアスタッフ）の育成に注力し、施設に関わる人材（関係人口）の増加（初年度は皆増）を目指す。

おもちゃ美術館に整備されるレーザーカッターにより、気軽にデジタルによる木工体験ができ、本町が取り組む「自伐型林業（川上）」「ものづく

り（川下）」を体感できる。また、より専門的にデジタル機器を用いたものづくりを希望する方には、町中心部に整備されている「さかわ発明ラボ」（ショップボット、デジタルミシン、3Dプリンター、UVプリンター、レーザーカッターを整備）でもものづくりを体験できる。おもちゃ美術館及びさかわ発明ラボには、コーディネーターが常駐しており、専門的な知識や経験がなくても、利用できる仕組みを構築している。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

佐川町から車で2時間圏内の高知県（8市12町3村）630,506人（0歳～9歳 44,254人）愛媛県（6市3町）984,187人（0～9歳 74,401人）をターゲットとしており、佐川町、高知市、松山市での魅力度調査でおもちゃ美術館の魅力度は約60%で利用意向は30～40%となっており、平日1日あたり50人、土日祝日1日あたり150人の年間約26000人の来館を見込んで対象事業を設計しており、入館料やイベント収入、一口館長（寄付）、おもちゃの売上等での収入で自立が可能である。

【官民協働】

行政が主体となって町内外から集客でき、なお佐川町の歴史、文化、自然を体感でき、知ってもらえる施設整備を行い、指定管理業者や発明ラボ、地域おこし協力隊の卒業生が協働しておもちゃやDIY工房の企画を行い、自立した運営を行う。

行政の役割として佐川町まち・ひと・しごと創世総合戦略で取り組んでいる施策を幼少期から遊びの中で追体験できる「木育」「植育」「職育」をコンセプトとしたおもちゃ美術館の施設の整備やものづくりのチームを作るため、自伐型林業や製材業、デザイナー等を繋げたり集客するため道の駅やその他観光資源、イベント等と連携した情報発信を行う。

民間事業者の役割として入館料やおもちゃの売上、指定管理料等で自立した運営を行えるよう、集客できる企画や売上が向上するおもちゃの開発を行ったり利用者の子どもたちの心身の発達に寄与でき、佐川の魅力を伝えられるおもちゃ学芸員を育成する。

地域の方やおもちゃ美術館や佐川町に興味を持った方におもちゃ学芸員

となってもらい来館者に遊びをとおして佐川の魅力も発信してもらおう。

【地域間連携】

高知県は森林面積率全国1位、人工林率全国2位、佐川町のある仁淀川地域も林業が盛んとなっており、幼少期から木にふれ合い楽しむことは地域にとっても重要である。保育園、幼稚園、小学校の遠足等で利用してもらい、木とのふれあい、ものづくり等の学習に活用してもらうため、また今後の1次産業の担い手の育成や木材の加工品の流通拡大を図るには周辺市町村との連携が必要。

近隣市町村（仁淀川町、越知町、日高村、いの町、土佐市）の保育園、幼稚園、小学校での遠足や課外学習での利用により、木のおもちゃとのふれあいや木材からのものづくり等、楽しみの中から地域の昔からある木の文化への理解や木材への親しみを学んでもらう。

高知県と仁淀川地域6市町村（仁淀川町、越知町、日高村、いの町、土佐市）と観光協会で構成する「仁淀ブルー観光協議会」と連携して林業・農業等の一次産業、ものづくりや加工などの二次産業を活用した誘客に向けた体験活動等により山や木材加工品の情報発信を行う。

おもちゃ美術館では牧野富太郎博士のエリア（まきのさんの花畑、まきのさんの山、とみたろうひろば）を取り入れている予定としており、その博士がフィールドワークしていた横倉山のある越知町と連携して博士をとおした各イベント等を行い情報発信、観光振興、交流人口の増加に繋げる。

全国の姉妹おもちゃ美術館とも連携し、相互に情報発信することにより集客し、交流人口の増加に繋げる。

【政策間連携】

地域資源を最大限に活用し、包括的に取り入れている施設の整備であるため、観光振興、ふるさと教育、移住・定住施策、産業振興等で政策間連携を行い地方創生に取り組む。

～観光振興施策との連携～

道の駅と隣接しており、連携してイベントや情報発信を行うことにより相互利用につながる。

本事業には牧野富太郎博士のエリアや牧野公園をイメージしたエリアがあり、そのエリアを通じて入館者に興味を持ってもらえるよう情報発信することにより牧野生家や観光協会のある上町地区や牧野公園へ導き観光振興に繋げる。特に来年度は、博士をモデルとした 2023 年前期連続テレビ小説「らんまん」も放送されることとなり、町の魅力を全国に発信し、観光振興・産業振興・地方創生に繋げる絶好の機会となっている。

～教育政策との連携～

「木育」「植育」「職育」をコンセプトにした本事業により幼少期から楽しみながら木のおもちゃとふれあったり、木材からものづくりを学ぶなどの体験は、本町が小学生からはじめるふるさと教育に繋がり、地域人材育成、定住施策との相乗効果を生み出す。

～産業振興施策との連携～

本事業においては「自伐型林業」の楽しさを味わえるエリアやDIY 工房によるものづくりの体験、田畑をテーマとしたエリアにより町の産業、生活について体験できるものとなっており、子どもだけでなく一緒に入館した親にとっても、地域の仕事を知り、体験する機会となるため、林業、農業といった1次産業、地域の木材を使ったものづくり等の2次産業への理解が増すことになり、担い手育成へと繋がる。

ワンストップ化としては、佐川町の自然、歴史、文化、産業など多くの要素を1カ所に盛り込んだ木育の場であり、利用者にとって導入部分ではあるが佐川町をまるごと体験できる施設となっており、次の観光に繋がる施設ともなっている。また、道の駅と隣接しており、その場で佐川の食材が使用された食事をとることもでき、地場産品を購入することもできる。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証時期】

毎年度 6月

【検証方法】

外部有識者を含めた佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議において
個々の事業について PDCA サイクルによる検証を毎年度実施。

【外部組織の参画者】

佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議

構成員：佐川町議会（２名）、佐川町教育委員会、佐川町農業委員会、佐川町職員労働組合、佐川町商工会、コスモス農業協同組合、佐川町社会福祉協議会、さかわ観光協会、佐川町金融団、高知県立大学、佐川町男女共同参画推進委員会、地域づくり実践者、小さな拠点実践者（子育て世代）、佐川町自治会長会（５名）、高知県

【検証結果の公表の方法】

町ホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第５条第４項第１号イに関する事業【A3007】

総事業費 112,508 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から２０２７年３月３１日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

５－３ その他の事業

５－３－１ 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

５－３－２ 支援措置によらない独自の取組

(1) 道の駅事業

ア 事業概要

「道の駅」に地元農産物を販売する直販所、地元農産物を活用した食事を提供するレストランを整備することにより、地元農産物の消費拡大、販売額増加を図る。また、施設において地域特産品のブラッ

シュアアップ、新商品開発（体験事業含む）、イベント等を実施することで、新たな消費や交流、集客を生み出す。あわせて、地域のハブ、来訪者の玄関口として、集落活動センター（小さな拠点）や地域観光施設等との連携を図るとともに、地域イベント、地域観光、地元商品等の情報発信により、町周辺部への誘客、交流人口拡大につなげる。

イ 事業実施主体

佐川町

ウ 事業実施期間

2022年4月1日から2027年3月31日まで

(2) 観光振興事業

ア 事業概要

・牧野富太郎博士顕彰事業

令和5年春からの連続テレビ小説（NHK）「らんまん」放送を契機に、改めて牧野富太郎博士を顕彰し、牧野富太郎ふるさと館や青山文庫、地質館、牧野公園等の既存施設や案内看板、サイン類、町内全体の装飾の統一化等、博士の生誕地としてのブランディング、博士やゆかりの植物に特化したイベントの実施、草花ガイドの育成や観光商品の開発を行い観光振興・産業振興を図る。

・まちまるごと植物園事業

「まちまるごと植物園」とは、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みで地域の山野草を守り育てる活動や植栽イベント、ウォーキングイベント、ガーデンツアー等も行い、交流人口、関係人口の増加を図る。

イ 事業実施主体

佐川町

ウ 事業実施期間

2022年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、5-2の⑥の【検証時期】に7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。